

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ラス XP	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.535	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ロック & リコシェ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

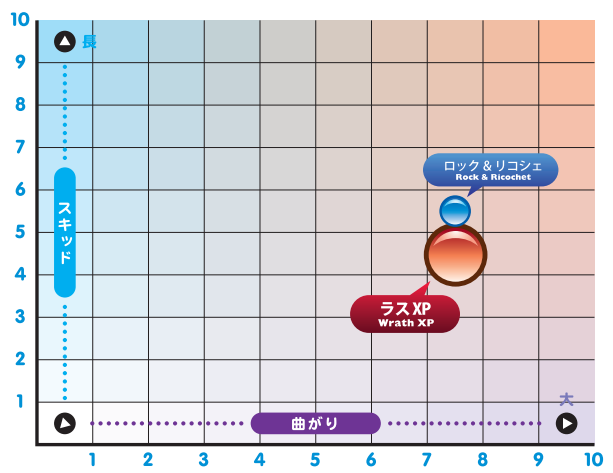
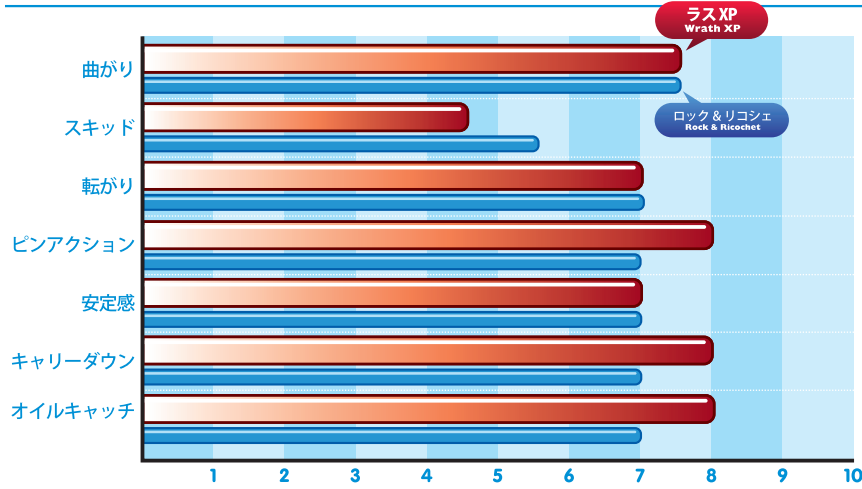
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レングス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

特記事項

コロンビア社はラスとラス XP の 2 種類をコア形状及び数値 (RG/△RG) を変更せず、カバーストックの変更のみで作りあげてきました。オイル上を泳がして投球できるラス XP とミディアムからミディアムオイリーのコンディションでフリップ系の動きのラス。ここではラス XP のレポートをお送りいたします。このラス XP は当時爆発的人気を誇った「カオス」のイメージをモチーフに、ダブルシリンダーコア (Ti Boss II) と NEW STS XP (Stuff That Strikes X-tra Power) カバーストックを採用し、オイル上での安定した転がり感とキャッチ力を求めたスペックです。投球したイメージは**手前のオイルが厚い時と朝一のフレッシュなコンディションで、有効的に使用できるボールと感じます。** 1500 番のウエットサンド加工の仕上げも併い、手前から緩やかにキャッチを感じるため、相応のオイル量がないとエネルギーロスでバックエンドでのリアクションが少なくなる傾向があります。その為大きく出し戻すラインを好むボール性能ではなく、**オイルの多いコンディションで長くオイル使い、タイトなライン取りがこのボールには合うような気がします。** **ピンアクションも当時を思い出させるほど重量感があり、柔らかくかき回すアクションをします。** スピードがあるタイプの方やローテーション不足を補ってくれるボールでもありますので、他のボールと比べ、**ピンアクション勝負をするならばこのラスは絶好なボール**でしょう。

当時カオスを気に入って使用していただいたファンの方、またタイトなラインでの投球を好む方でオイルに強いボールをお探しの方お試しください。